



ハイデルベルグ社製 高精細出力機

業界初 高精細印刷を標準仕様で提供

昭和30年創業のマツオ印刷（株）（福岡県嘉麻市）は、今年6月から標準仕様で高精細印刷を開始した。同社の代表取締役社長・松尾亮氏に話を聞いた。

10年前からウェブ入稿による 印刷サイトを立ち上げ

—印刷サイトを立ち上げた経緯を教えてください。

弊社は、昭和30年に旧福岡県山田市（現・嘉麻市）で創業しました。主に筑豊地区を商圏に、地元企業や官公庁からパンフレットや市政だよりなどの受注を得てきましたが、過疎化や景気低迷などにより地元の印刷需要が縮小し、地元以外からの受注を増やすことが不可欠となっていました。しかし、中小企業の弊社としては地理や人員規模の制約などから人海戦術による顧客拡大は無理があると考え、インターネットを利用して全国のお客様からの受注を見込めるウェブ入稿形式による印刷サイトを立ち上げました。現在、年賀状印刷サイトも運営中です。

—7月に印刷サイトを全面リニューアル
—サイトの効果はいかがですか。

印刷サイト立ち上げ後は、定期的なリニューアルを重ねるとともにサイトの認知度も高まり、選挙ポスター印刷では検索サイトで上位に定着するまでになりました。弊社はお客様にご満足いただきたく、校正段階で印刷の仕上がり具合をお客様ご自身が確認されたうえで納品しております。多数のお客様から反復してご注文をいただいている。選挙ポスターは普通紙と異なり色合わせが難しいのですが、仕上がりにご満足いただくことで全国のお客様からリピートオーダーをいただいている。7月に印刷サイトを全面リニューアルしましたが、おかげさまで「パンフレット印刷」のキーワード検索で当社のサイトを閲覧されるお

客様も増えています。

ハイデルベルク社製CTPによる 高精細印刷の導入

—高精細印刷に注力されていますね。

印刷業界では価格競争が常態化していますが、弊社では適正な価格で高品質な美しい印刷を提供したいとの思いから、印刷サイトのリニューアルと前後して、ハイデルベルク社製のハイブリッド高精細印刷（300線）を導入し、弊社の標準仕様にしました。300線の高精細印刷は従来の印刷（175線）では肉眼で視認することができる網点がほとんど見えないほど細かくなりますので、ざらつきがなく、実際の写真に近い仕上がりになります。弊社では用紙の特性に応じてキャリプレーション（色合わせ）を行っていますが、コート紙やマット紙といった印刷用紙の種類に関わらず、校正時のイメージに極めて近い色に仕上がるこども特徴です。

高精細印刷は従来印刷と同価格で提供しておりますので、ぜひこの機会に写真並みの品質をご体感いただければと思います。なお、サイトには300線高精細印刷の無料サンプル請求をご用意しております。「マツオ印刷」で検索してください。

会社概要

商号	マツオ印刷株式会社
企業コード	800414117
所在地	福岡県嘉麻市上山田1338-9
代表	松尾 亮氏
電話	0948-52-0144
設立	昭和42年1月
資本金	2138万円
事業内容	印刷業
URL	http://www.matsuo-print.com/